

<資料>東京都ナースプラザへの意見や要望

## ① 人材確保・紹介に関する意見・要望

- ・病院で看護補助者の募集をしているが、なかなか応募がこない。今年度よりナースバンク東京でも看護補助者対象の就職説明会が開始になったと思いますが、ナースプラザでこのような説明会が開かれる事を、どのようなかたちで外部にアナウンスされているのか知りたいです。
- ・定期的な就職相談会開催の様子、結果等が知りたい
- ・補助者専門で求人フェアなどがあると良いなと思います。
- ・派遣契約を中止し、当院採用に切り替えました。応募がほぼ無い状態が続いています。人材を紹介していただきたいです。
- ・看護補助者の求人応募が少ないため、人材紹介をサポートしていただきたい。(東京都や立川で行っているが当院は、小田原線状なので、通勤距離的に遠い)
- ・看護師のタスクシフトを考えますと看護補助者の活用は必須と考える。採用活動への支援と教育、保険等のへの支援をお願いしたいです。
- ・求人できる場が欲しい
- ・派遣会社募集しても応募がないことや、ナースプラザの就職相談に応募しても選考もれになります。給料形態を変更できない施設の募集の場を作っていただきたい。
- ・当院の看護補助者の年齢層が高く、体力・知力が必要な業務はあまり移譲できない。若い看護補助者の応募が少ないため、応募に繋がる方策を検討したい。  
「ナースプラザによる看護補助者活用としての就業に向けた研修」は未経験の方の応募の時に役立つ。
- ・看護補助者だけの就職説明会。一般主婦等が、目につくような求人、説明会の方法
- ・引き続き、不足している時の人員確保
- ・今年度よりふれあいナースバンクで補助者への説明会が開始となったので、ぜひ大々的にアピールをしていただき、多くの方が興味をもって応募ができるように、何卒よろしくをお願いします。
- ・就職説明会を数多く開催してほしい
- ・まだ看護補助者の雇用が無いが紹介料が発生しないため活用の拡大を切望します。
- ・人材紹介がありますとありがたいです。
- ・ナースプラザでも紹介いただけることはありがたいですが、NS もナースプラザをつかうことが少なく、さらにひろげて行ってほしいです。自分たちの力で雇用をひろげ、人材を育成していく必要があるので、一緒に担っていただきたいです。
- ・看護職と同じように人材紹介を希望します。
- ・紹介会社、派遣会社に頼らず、職員確保について病院として自立していきたい。そのための支援をお願いします。
- ・職説明会への参加申請の簡素化、就職説明会の広報が不十分？ほか。病院へは派遣の応募もなかなかない状況があります。施設が多くなり、そちらへ流れているのではないかと思います。
- ・特にありません。どの施設も同様かもしれませんが、定着率（特に新規）が低く対応に難渋しています。雇用についてもなかなか集まりません。
- ・是非積極的に活用したいです。
- ・総体的に医療機関職種への応募者が少ない。看護師の求人に対しては、ほぼ1年～2年の長いスパンで求人を行わないと雇用と結びつかない
- ・直接雇用を増やしたいので、紹介してほしいと思います。
- ・人材の紹介を積極的にしてほしい。
- ・とにかく補助者の入職がないため、Nsの業務負担が非常に高く不満が生じている(Nsの)。入職に

つながるあっせん機会をつくってほしい。

- ・人材の紹介 ・外国人への教育
- ・ナースセンターで人材を紹介していただきたい。ナースセンターで看護補助の紹介をしていることを世間に知ってもらえるようにしたらいいと思います。

## ② 研修・教育に関する意見・要望

- ・看護補助者に対する研修を多く行って欲しい。(外国人含む)
- ・接遇研修を行っても中々接遇力が向上しない、効果的な研修や指導方法を教えていただきたい
- ・看護補助者の実態を知った上で、教育・指導の方法を具体的に教えてほしい"
- ・研修とか受講する回数を増やす。費用を無料にする。半日とか短時間の研修を企画するなどしてほしい。賃金面では施設と比較すると弱いので病院で勤務するメリットを感じられる様にしてほしい。情報の共有ができると良い。成功例など知りたい
- ・看護補助者の更なる活用看護管理者研修を今後も開催してほしい
- ・他施設の看護補助者への教育方法や指導方法の情報が、公開されているとよいかと思います。
- ・様々なスキルの看護補助者が安心して直接業務が実践可能となるような技術習得のサポート。看護師のタスクシフトにおいて直接業務習得は必須ですが、基礎教育を受けていない補助者を臨床で教育することは非常に困難です。各技術の動画等の無償配信などがあると
- ・看護補助者への教育はとても重要と理解していますが、準備するのはとても難しい状況です。価格もおさえてウェブ教育等があるとありがたいです。
- ・補助者全体のスキルアップをはかって欲しい
- ・小規模病院では教育を院内で十分に実施することが難しい。補助者への研修も企画をつづけてほしい。少人数なので全員を一度に研修に出せないなので、何度か企画してほしいです。

## ③ 情報提供・広報に関する意見・要望

- ・姿が見えない。
- ・求職中の"看護師"であれば貴協会の求人にアクセスすると思いますが、"看護補助者"で求職中の方はなかなかアクセスしない（そもそも思いつかない）と思うので、このあたりのインフォメーションの強化。
- ・人材募集をする際に「看護助手」と記載しておりますが、一般的に何をするのかということ、世間の皆様が理解しづらい部門のような気がします（医療事務やクリニック受付と混同している方が多い気がします）。面談時にお話して、理解していただけますが、募集時にすぐイメージできる職種ではないので、周知できれば募集する時にエントリーが増えると思います。
- ・看護補助者という仕事を知ってもらいたい。看護師定年後、補助者になった方が大活躍です。
- ・若い人材確保が他業種と比べると医療界へのハードルが高く感じている状況がある。楽しい、ステキと思うイメージ作りが必要。
- ・未経験者に対して、看護補助者の役割や業務内容の理解を促す説明。就職に向けて相談会。・派遣会社からの紹介の場合、非常に高い時給を提示される。多くの病院で看護補助者の確保が困難な中、提示額と業務内容や量が見合っていないと感じる。本来の看護補助者の活用目的に照らした適切な雇用となるよう介入をお願いしたい。バーロードではなく、URL の提示をお願いしたい。
- ・医療の看護補助者の確保を推進してもらいたい。有料紹介・派遣など業者がどんどん増え、料金設定もどんどん上がっています。若い無資格者へ情報提供や、補助とか助手のような表現ではなく介護としての有効な仕事をアピールしてほしいです。

- ・仕事・業務内容について、一般社会へのさらなる周知をお願いしたいと思います。
- ・看護補助者の対象となる人が目にする場所への広告、情報提供。無料の紹介システム。求人広告のシンプル化、看護補助者専用の入力フォーマットの設置

#### ④ 処遇・賃金格差に関する意見・要望

- ・病院の立地や給料などが応募者の希望に見合いません。
- ・病院自体の収入が減少しており、希望どおりの補助者の雇用ができない。また、施設に比べて給与も低いためか応募者も少ない。補助者が少ない事から、看護師が補助者業務をカバーしなくてはならない（1日看護補助者として働く）
- ・処遇改善、賃金引上げをお願いします。
- ・看護補助者の給料をあげるしくみをつくるためには、どうしたらいいか。社会的評価が低すぎる。
- ・補助者の時給や給与面で当院と合わないことや業者からの紹介は費用が高く、採用に至るまでにたどりつかないことが多いです。各地域別などで雇用ができるシステムなどがあれば助かると思います。
- ・看護補助者の賃金格差を埋めるための調査や対策があれば聞きたい

#### ⑤ 外国人看護補助者に関する意見・要望

- ・現在、外国人の補助者採用は行っていないが、導入されている施設の管理者からは、苦慮している内容の話聞く機会が多くあります。今後導入を考えている施設向けに、外国人労働者を受け入れるにあたっての配慮すべき点や準備等について、情報提供していただくと有り難く思います。同じ問題を抱えることなく、次のステップへ進めるのではないかと思います。
- ・外国人労働者に対しての言語、文化のちがいに対してのアプローチ方法を知りたい。コミュニケーション技術
- ・質問 8-外国人看護補助者の導入について：以前は中国人、メキシコ人他、数名の看護補助者を雇用していたが面接時、言語力、コミュニケーション能力 etc を重視して採用したが現在は中断している。理由として、上記項目以外で最もネックになっている事項として、業務上の指導（注意）に関して、文化の違い及び言葉の壁（正しく理解できない）から最終的に”人種差別”と主張しだし、トラブル化し、解決にまで至らず退職した方が2名いた。（人種差別と言われた時点でそれ以上の指導は非常にむずかしくなってしまう。）私個人としても外国の大学を卒業しており、外国人への対応はなれているがトラブルを日本人のようにはいかない事も多い。”

#### ⑥ 看護補助者の業務・役割に関する意見・要望

- ・看護補助の仕事について魅力・メリットが無いように思えます。医師、ナースの指示のもと、仕事と言うよりは作業的なものが多く、やりがいや得られにくいように思えます。例えば、看護補助の経験者が看護師になりたい場合に、経験内容・年数により優遇（補助金等）措置が得られる等も一考かと思えます。

#### ⑦ 制度・政策への意見・要望

- ・看護補助者で介護福祉士の場合、病院勤務より施設系の方が圧倒的に給料が高い。（国からの補助金があるため）そのため施設に人材が流れていきやすい
- ・施設の介護師・看護補助には都や国より補助金が出ているが、病院等にはないのは不公平である。その為、病院看護補助者は施設に比べ就職してこない理由である。同じ仕事をしていて不公平を感じる

じてしまう。何か解決策がないでしょうか。

- ・雇用) 介護施設と病院で働く看護補助者の給与体系がかなり格差があり、介護施設へ転職してしまう職員が増えて困っています。病院で働く看護補助者が不足すると看護師からのタスクシフトが困難になり、看護業務に加えて負担が大きくなっています。病院で働く介護職員にも介護施設への補助のように支援してほしいと思います。

活用) 介護施設では「たんの吸引等の実習」を受けた介護職員は施設内で痰の吸引や経管栄養の投与を行うことができますが、病院では認められておりません。慢性期の病院では気管切開をして長期に療養される患者さんが多数おり、看護師は痰の吸引処置に追われています。病院内でも介護職(介護福祉士の資格ありの方)に、これらの処置を行うことを認めてくれると、看護師の業務負担もとれ、患者さんにも苦痛を最小限にできると思われます。(現状では吸引は行えないため、看護師を呼んで対応せざるをえず、その間、患者さんは咳で苦しんでいます。

- ・施設の介護士、看護補助には都や国より補助金が出ているが、病院等にはないのは不公平である。その為、病院看護補助者には施設に比べ就職してこない理由である。同じ仕事をしていて不公平を感じてしまう。何か解決策がないでしょうか。

- ・看護助手の保険

- ・1.看護補助者に特定支援制度の構築(例:給与/基本給は一律)

2.働く病院により働き方が違う、どこで働いても補助業務は標準化し相違がない基盤は同じベースでどこでも働ける体制

- ・介護事業所との賃金格差があり、人が集まらない。看護が看護補助業務をフォローしている状況。ナースプラザへの意見というか国・都へ抜本的な改革を求めます。

#### ⑧ その他(個別の事情など)

- ・随時見学募集しておりますので、少しでもご興味あれば当院にご連絡いただけますと幸いです。

- ・当院の看護助手さんは、20~10年と就業年数が長い方ばかりです。特に補充は考えていません。

- ・短時間勤務と常勤勤務を採用している病院の補助者の活用例。補助者が行っている業務の「その他」の他病院での例を知りたいです。

- ・産後ケアに興味をもつ、育児経験がある方の紹介があれば嬉しい

- ・当方人で注力した結果、外国人に注力し特定技能・特定技能1号を有する外国人の雇用ルートができた。困った時に法人本部に看護部長会で進言した結果と思っている。また、その以外の国籍を問わない場合は口コミが多く、全く費用を使わないまでに2年前ぐらいに変化してきた。